

学ぶ楽しさつながる喜び 「大山カレッジ」第12回入学式

大山町オリジナルの大人の学校「大山カレッジ」の入学式が、4月18日に中山中学校で行われました。

平成20年度に15人で始まった大山カレッジも、仲間とつながる楽しさと頭を使う爽快感が好評で、次第に学ぶ仲間が増え、今年度は新入生4人を含む28人が入学しました。

式では、新校長の手島千津夫中山公民館長が、入学生の名前を読み上げ、「皆さんの『学ぼう』という姿勢



▶大山カレッジ入学式

に敬意を表します」と式辞を述べました。また、入学生代表の戸野恵子さんから「いつかはカレッジに入学したいと思っています。アメリカ人の先生による英語の授業を楽しみにしています」とあいさつがありました。入学された皆さんは「今年一年間、どんな学びやつながりができるか楽しみ」と期待に満ちあふれていました。

新緑の孝霊山トレッキング

大山公民館大山分館

4月28日に大山分館とまちづくり大山の共催で、孝霊山トレッキングが行われました。

コースは、佐摩から孝霊山を折り返すコースと、佐摩・孝霊山、さらに香原山城跡のある免賀手山まで行くコースの2種類でした。

当日は、天候も良く、孝霊山の頂上では弓ヶ浜半島を一望することができました。免賀手山へ降りる道は急斜面ですが、まちづくり大山による登山道の整備が行われていて、上級者コースながらも、皆スムーズに下山することができました。

参加者の皆さんは、新緑を楽しみながらのトレッキングに大満足の様子でした。



▲孝霊山山頂で

史跡めぐりと山菜会

大山公民館高麗分館

4月19日に、うれしい史跡めぐりの会、高麗分館、地域自主組織ふれあいの郷かあら山の共催で「史跡めぐりと山菜会」が行われました。

第一部の荘田地区の史跡をめぐるウォーキングは、小雨の降り注ぐ中、史跡めぐりの会の案内で16名の方が縄文時代の遺跡をめぐり、会員の説明に耳を傾けました。

第二部の山菜会では、当日までに

収穫した山菜を用いた田楽・白和え・ナムル・天ぷら・佃煮・煮物・炊き込みご飯・吸い物・デザートなどが多彩な品揃えに、総勢60名の参加者が自然の恵みに舌鼓を打ちました。



▲多彩な品揃えの山菜料理



▲史跡めぐり（荘田地区）